

令和元年度決算のポイント

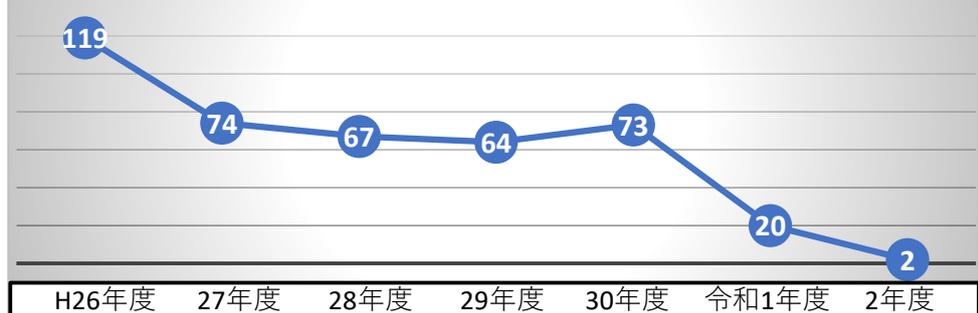
一般会計は、歳入昨年度比0.2%減の約1125億円で、歳出は、昨年度比0.5%減の約1091億円となりました。市税収入は、昨年度比で約7億円増の近年微増傾向となっています。市の借金である市債は、小中学校のエアコン設置が終了したこともあり、近年の増加傾向が止まり、昨年度比約28億円減の約1005億円の市債残高となりました。歳出の内訳では、福祉のための費用（民生費）で46%を占め、増加傾向も変わっていません。

主な事業より

民間保育所等の新設、増改築に補助金を交付する等の待機児童対策により、今年の待機児童は2人になりました。定員数は昨年度比260人増。

今後は、箱物だけではなく、さらに切れ目のない、きめ細やかな子育て支援が求められていると考えます。

待機児童数(人)



平成28年度から令和元年度の4箇年継続事業により、全小中学校のコンピューター室へのタブレット端末導入と校内LAN環境の整備は完了しましたが、今年のコロナ禍において、どれだけ有効に活用できているのかについては、学校・教員、双方の検証が必要と考えています。

国のGIGAスクール構想により、今年度中には一人1台タブレットが整備される予定です（6月・7月議会補正で可決）。教員のICT活用指導力の向上は待ったなしです。

川越市南部地域へデマンド型交通（事前予約性乗合いバス）の運行が拡大しました。本年12月からは市東部地域への運行開始が予定され、これにより全予定箇所で行われることから、来年度末には検証が必要と考えます。

平成29年度からの令和元年度の3箇年継続事業により、防災行政無線のデジタル化整備が完了しました。

デジタル化への更新を行ったことで、音質の向上、地域ごとの音量調整、子局増設による難聴地域の解消、多媒体（SNS、メール等）への連携が可能となり、多様な情報伝達手段が確保されました。今後は避難所との連絡体制強化等も期待されます。

平成29年の川口の提言が実現！

「ひとり親家庭等学習支援事業が事業拡大！」

場所がないとの理由で、拡大ニーズにこたえられていなかったこの事業ですが、公共施設での実施を実現させることで事業の拡大が図られました。

令和3年度 予算及び施策要望を提出

私たち政晴会では、会派として新型コロナウイルスからの復興や、災害対策、教育、子育て、地域諸課題への対応等、12分野における各種施策要望を市長に提出し「お金がない時こそ仕組みづくりを！」と、持続可能な行財政運営に向けた早急な仕組みづくりを求めました。

来年度予算は、コロナの影響により大幅な税収の落ち込みが予想されています。



左から 明ヶ戸議員、市長、川口啓介、樋口議員

提案型地域情報誌グリーンズ川越は、2003年より政治を身近にしていくための活動の1つとして始め、2007年からは議員活動報告をプラスし、私の考え方と共に皆様にお届けしているニュースです。なお、手配りのためにタイムリーにお届けできない場合がありますがご了承下さい。バックナンバーをご希望の場合はお届けします。ホームページでも見る事ができます。[川口けいすけ]で検索！



この紙面の配布にご協力いただける方は、下記までご連絡いただければ幸いです（範囲・枚数は出来る限りで結構です）。
TEL 080-3025-5776 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

